

新型コロナを防ごう！ モロドミ建設が多久市にマスクを寄贈

4/6 [Mon]



▲市役所で柴村専務取締役からマスクを受け取る横尾市長

モロドミ建設株式会社（南多久町）から多久市へマスク 2 万枚を寄贈いただきました。

市役所でマスクを贈られた柴村英男専務取締役は、「新型コロナウィルスの影響でマスクが品薄となる中、必要としているみなさんの役に立てばうれしい」と話されました。

寄贈いただいたマスクは、市内の福祉施設や医療機関、保育施設などのほか、持病があり重症化リスクの高い人に配布を行いました。

マスクを受け取った横尾俊彦市長は「全国的にもマスクが手に入らず苦労している人が多い中、このように寄贈していただけることは大変ありがたい」と感謝の言葉を話しました。

保健衛生分野での功労を称え 織田行高さんに瑞宝双光章

4/29 [Wed]

昭和46年に中多久病院を開業し、現在は同病院の会長を務める精神科医の織田行高さん（北多久町）が、令和2年春の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。

織田さんは、当時としては画期的な街中での精神科病院の運営に尽力。また、病棟見学を受け付けるなどして、地域の理解を得ていきました。さらに、高齢化社会を受けて認知症ケアにも力を入れるなど、長年地域医療に貢献されています。

現在も現役で診察にあたる織田さん。叙勲を受け「初めの頃は苦労しましたが、こうして勲章をいただけて、身に余る光栄です」と、喜びを話されました。



▲授与された瑞宝双光章

▲瑞宝双光章を受章された織田さん

長年の市政への功績を称え 角田一彦さんに旭日双光章

5/13 [Wed]



▲横尾俊彦市長から受章の伝達を受ける角田さん



▲旭日双光章を受章された角田さん

長年にわたり多久市議会議員として市政に尽くした角田一彦さん（南多久町）が、令和2年春の叙勲で旭日双光章を受章され、多久市役所で伝達式が行われました。

角田さんは、平成11年4月から平成31年4月まで5期20年、市議会議員として務められ、副議長、監査委員を歴任するなど、地域の発展や議会の活性化に取り組んでこられました。

角田さんは叙勲を受け「みなさまのご指導と支えがあって、市議会議員として務め上げることができました。これからは良き市民として地域文化の継承、多久市の発展のために尽力してまいります」と感謝の言葉を話されました。